

序

佐渡市では、平成 12 年度より佐渡島内に残る鉱山遺跡の調査を行っています。本書は、平成 24 年度に行われた佐渡金山遺跡（上寺町地区）の分布調査をまとめたものです。

相川地区には、道遊の割戸・宗太夫間歩・佐渡鉱山近代遺跡など、平成元年まで金銀が採掘された相川金銀山をはじめ、江戸時代の政治拠点であった佐渡奉行所跡、明治以降の鉱山事務所である旧宮内庄省御料局佐渡支庁跡、かつての鉱山集落跡の上相川地区のほか、現在も続く鉱山都市相川の町並みなど、鉱山に関わる多くの遺跡や資産が残されています。

上寺町地区は、江戸時代初期の採掘地や鉱山集落に隣接しており、鉱山関係者の信仰対象であった寺院群が存在していました。現在も、斜面を造成した平坦面や、墓石・石垣・石段等の石造物などが良好に残されており、当時の人々の生活の一端をうかがい知ることができる貴重な遺跡であるといえます。

この調査成果が、郷土の歴史教育や地域活動に広く活用されることを願うとともに、文化財に対するより一層の関心と理解を深めるための契機となれば幸いです。

最後に、今回の調査及び本書の編集にあたり、ご指導とご協力をいただきました関係者各位に対して厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 1 月

佐渡市長 甲斐 元也

例 言

- 1 本書は、新潟県佐渡市相川庄右衛門町・相川諏訪町・相川上寺町・相川次助町一帯に所在する佐渡金山遺跡（上寺町地区）の分布調査報告書である。
- 2 本書は、本文・挿図・表・関連資料・図版・写真図版からなる。
- 3 分布調査は、国史跡指定を目的とした内容確認のためのものである。
- 4 調査は、佐渡市が実施した。
- 5 調査は、平成 24～25 年度に国宝重要文化財等保存整備費補助事業の事業採択を受けて実施した。
- 6 調査に係る資料は、すべて佐渡市が保管・管理している。
- 7 本書で用いた方角は、特に表示のない場合、すべて真北である。
- 8 作成した挿図・図版のうち、既存の図を使用した場合にはそれぞれの出典を記した。
- 9 引用・参考文献は著者及び刊行年（西暦）を文中の〔 〕で示し、巻末に掲載した。
- 10 引用絵図のうち、絵図に表題のないものについては、整理者の勘案した名称を〔 〕で示した。
- 11 地形図は新潟県佐渡市世界遺産推進課が作成した 1／500 地形図を使用した。
- 12 本書の図版作成・編集は有限会社不二出版に委託した。
- 13 本書の執筆は、第 I～III 章 1～2・IV 章 1 は若林篤男（佐渡市世界遺産推進課）、第 III 章 3 は相羽重徳（佐渡市世界遺産推進課）、第 IV 章 2 は尾崎高宏（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室）が担当し、編集は若林が行った。
- 14 調査から本書の作成に至るまで下記の方々から多大なご教示とご協力を賜った。厚く感謝申し上げます。

青木錬昇 伊藤雅光 大澤妙説 小田由美子 鎌田直治 小林祐玄 佐渡友恵隆 駄栗毛寛
萩野由之 柳平則子 山下信一郎 余湖明彦 和倉宏実 渡邊裕之 相川第二分団の皆様
泉秀寺 妙伝寺 妙法寺 小国町教育委員会事務局 国見町教育委員会生涯学習課
桑折町生涯学習課 伊達市教育委員会教育総務課 新潟県教育庁文化行政課 新潟県佐渡地域振興局
文化庁文化財部記念物課 小木物産工業株式会社 株式会社ゴールデン佐渡
公益社団法人佐渡シルバー人材センター

（敬称略）